

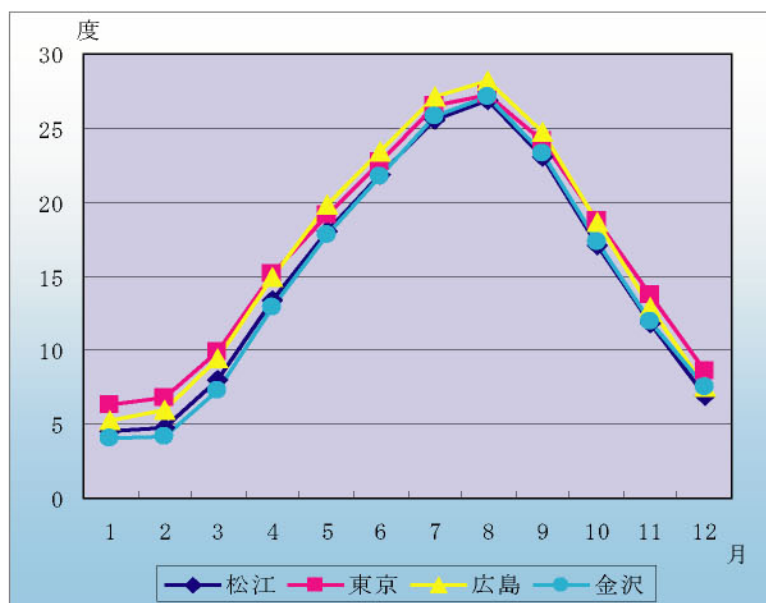


第四回 斐伊川流域の水辺を考える懇談会

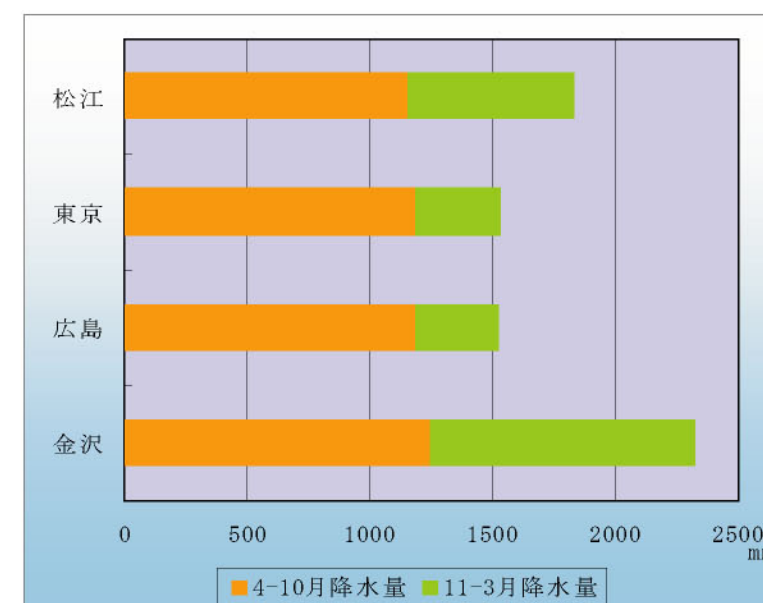
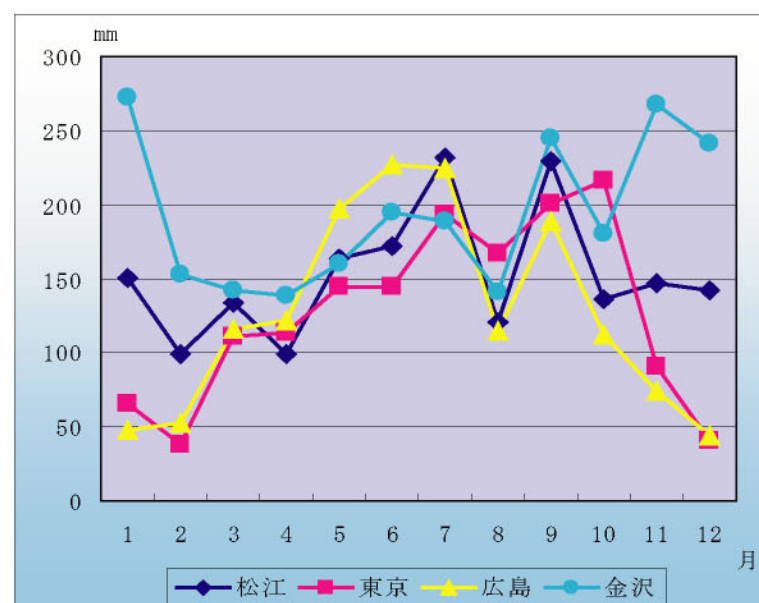
出雲河川事務所

【内容】山陰の気候によって育まれる自然や景観を把握するため、東京、広島、金沢、松江の4都市の気象を比較し、山陰の気象条件を整理した。
【概要】山陰は、冬季に降水量が多く日照時間が少ない。しかし、観光シーズンの4月から10月の降水量と日照時間において4市共に大差ない。霧の発生は松江が多い。

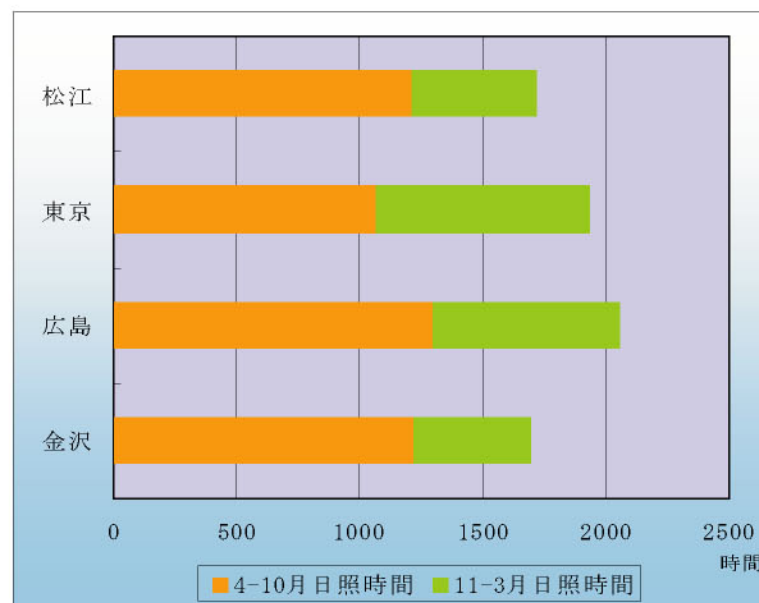
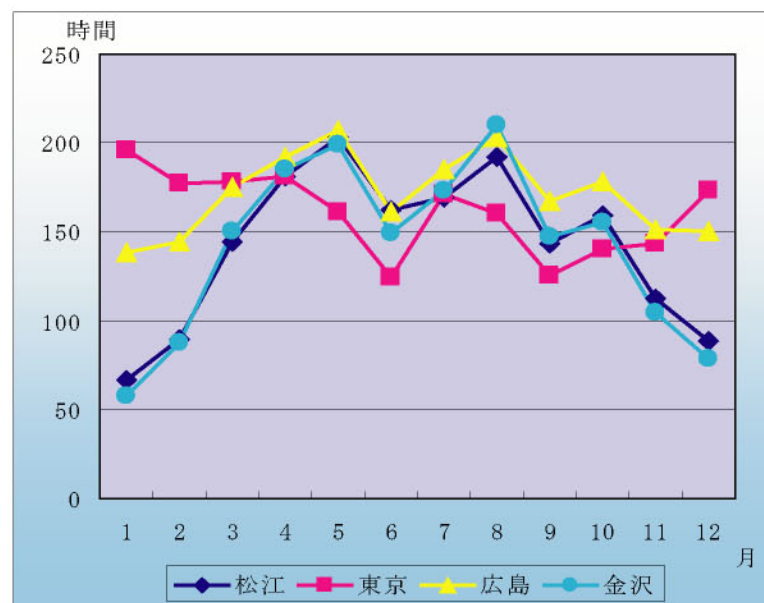
月別平均気温【1996-2005平均値】



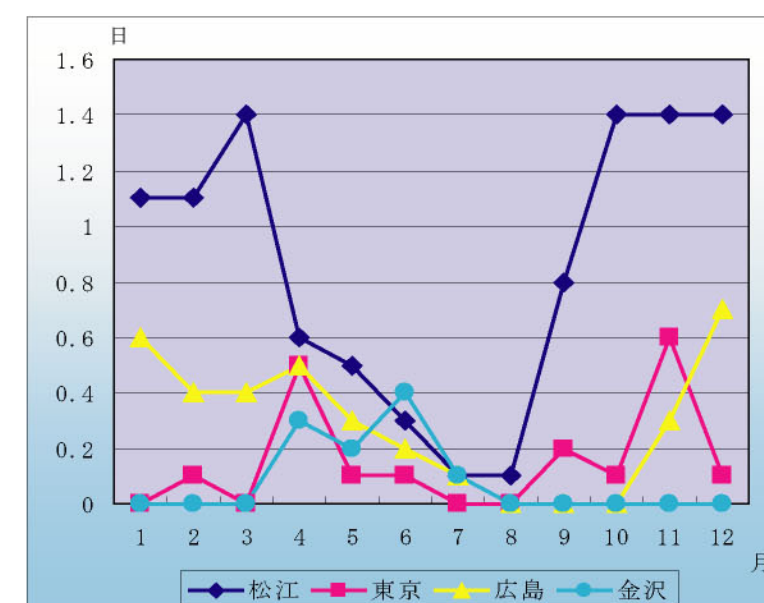
月別降水量【1996-2005平均値】



月別日照時間【1996-2005平均値】



月別霧発生日数【1996-2005平均値】

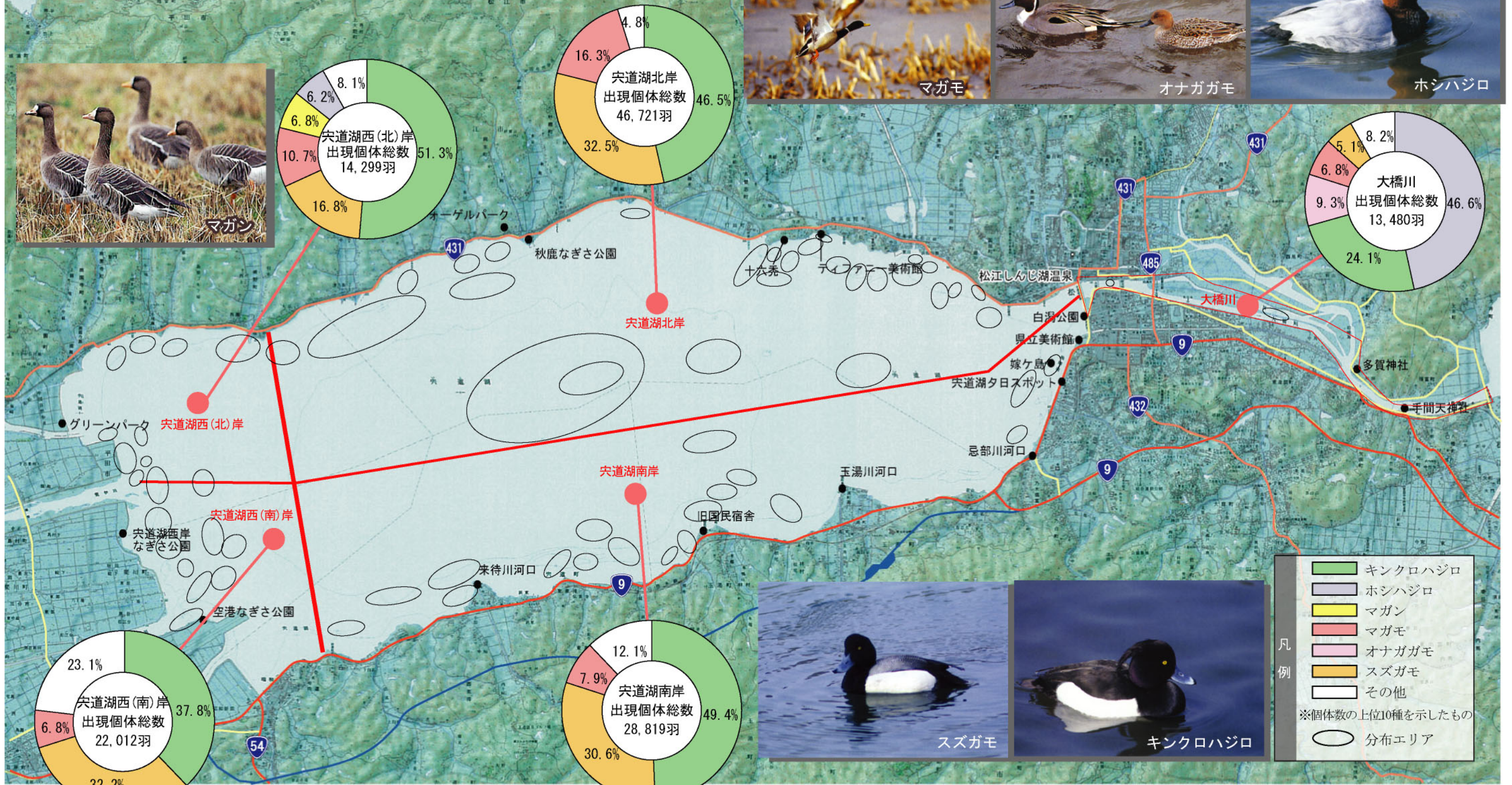


【参考資料】気象庁ホームページ

冬季鳥類分布

【内容】冬ににぎわいを見せる鳥類の個体数と分布状況を整理した。

【概要】宍道湖沿岸を中心に分布し、個体数はキンクロハジロが最も多く、スズガモがそれに続いている。

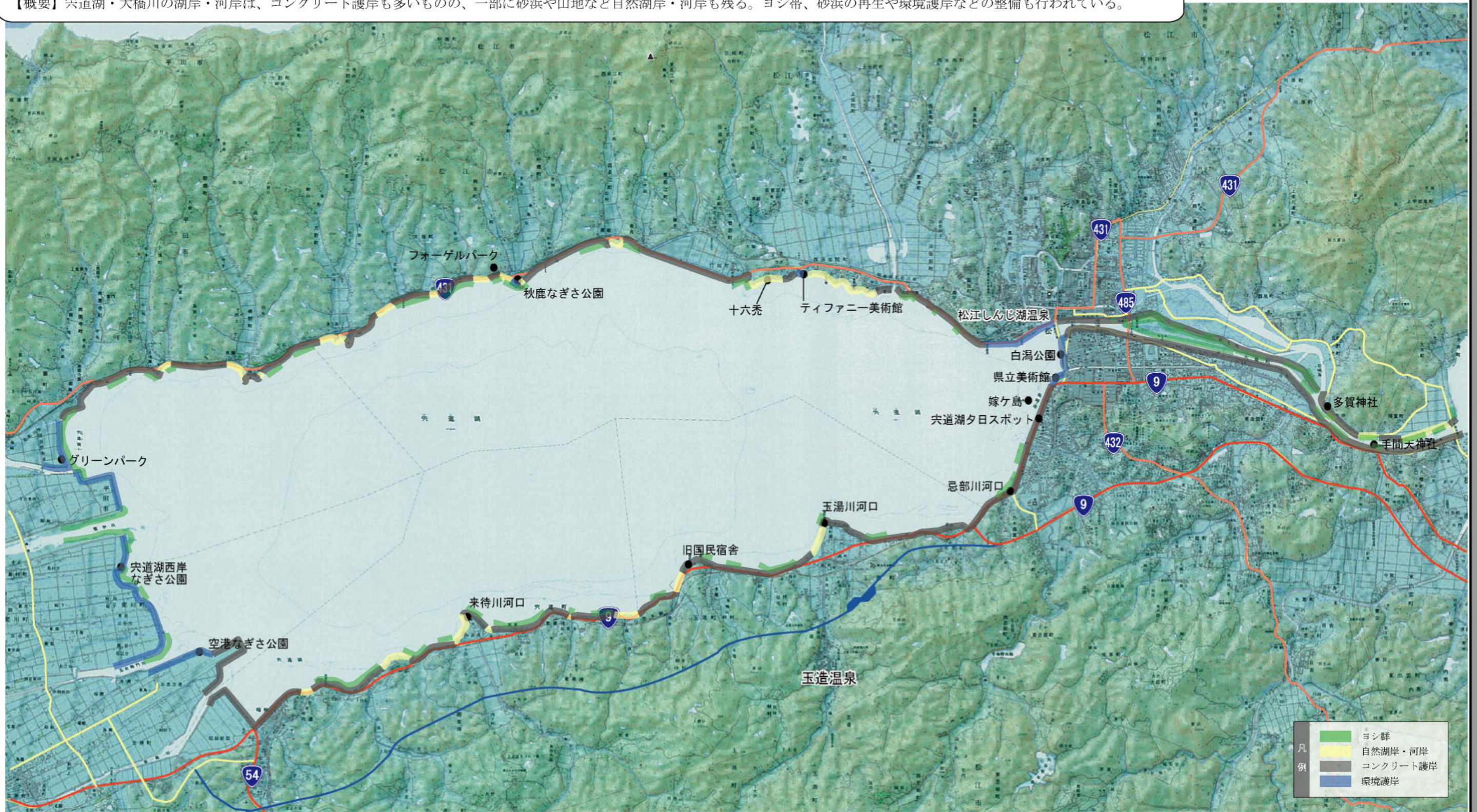


- 凡例
- キンクロハジロ
 - ホシハジロ
 - マガン
 - マガモ
 - オナガガモ
 - スズガモ
 - その他
 - ※個体数の上位10種を示したものの
 - 分布エリア

【参考資料】個体数 : 第1回「大橋川改修に関する環境検討委員会」資料
分布エリア : 「斐伊川水系の鳥類(平成9年2月)」

【内容】湖・川と陸との接点である湖岸・河岸について、「自然湖岸・河岸」「コンクリート護岸」「環境護岸」別に整理するとともに、ヨシの分布状況を整理した。

【概要】宍道湖・大橋川の湖岸・河岸は、コンクリート護岸も多いものの、一部に砂浜や山地など自然湖岸・河岸も残る。ヨシ帯、砂浜の再生や環境護岸などの整備も行われている。



【参考資料】第1回「大橋川改修に関する環境検討委員会（平成17年1月26日）」資料

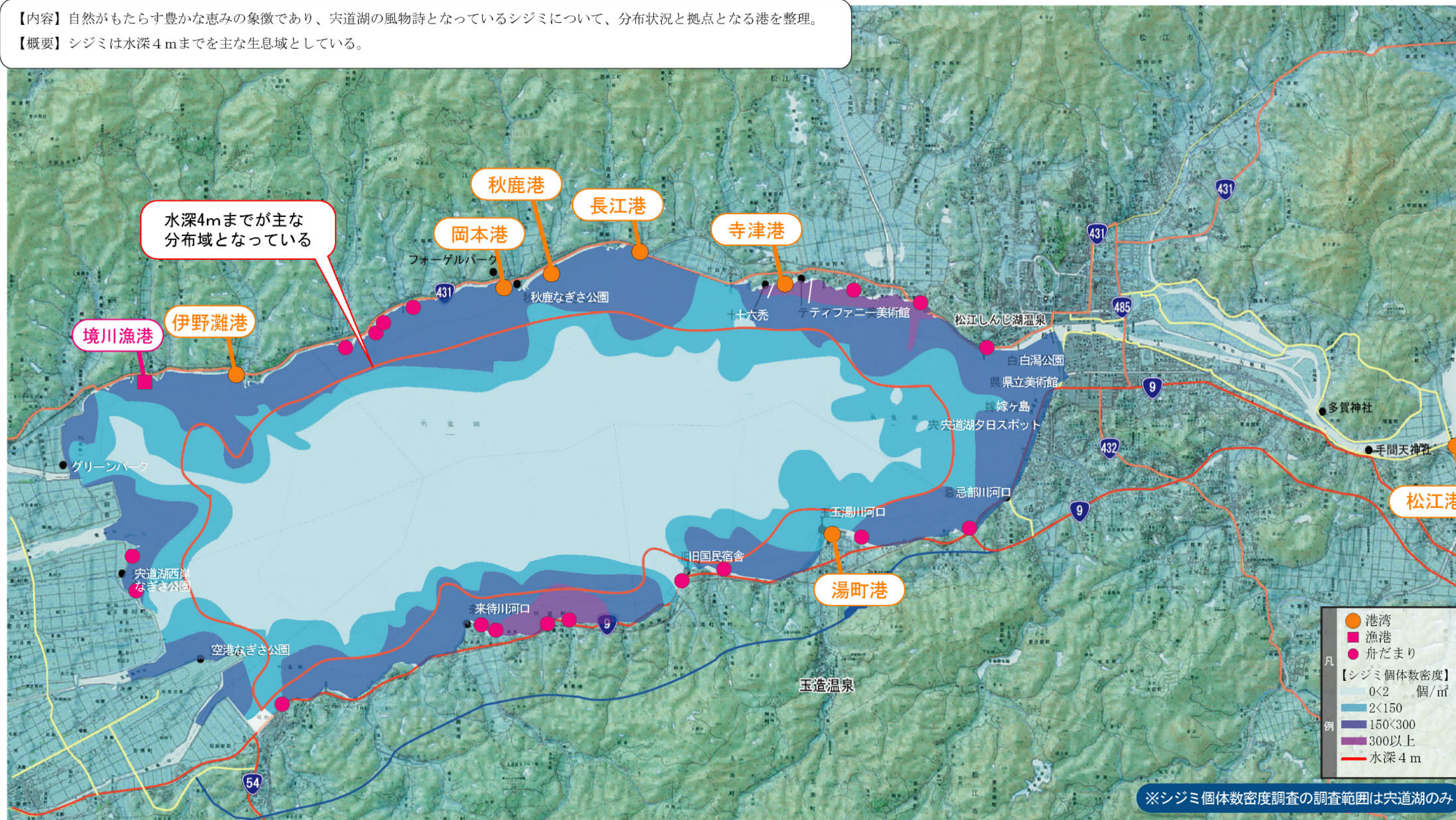
2006.03.06

斐伊川流域の水辺を考える懇談会 Vol. 4

シジミ個体数密度

【内容】自然がもたらす豊かな恵みの象徴であり、宍道湖の風物詩となっているシジミについて、分布状況と拠点となる港を整理。

【概要】シジミは水深4mまでを主な生息域としている。



【参考資料】シジミ個体数密度：第1回「大橋川改修に関する環境検討委員会（平成17年1月26日）」資料
 港湾・漁港：島根県ホームページ
 舟だまり：第1回「宍道湖の保全・整備に関する検討委員会（平成3年3月）」資料より現地確認を行った